



⑥ 浄化センターで工夫していること

汚水をきれいにする途中でできる泥(下水に沈んだ泥)は、肥料(コンポスト)として畑などで使われます。また、那覇浄化センターでは汚水をきれいにする途中でできるガスを使って電気を作っています(消化ガス発電システム)。作った電気は浄化センターで使う電気の約4割になります。沖縄県ではこれからも下水処理水や下水汚泥を上手に使い、省エネルギーやリサイクルに取り組んでいきたいと考えています。

⑦ 下水道についての注意

下水道をつかうときは、次のことに気をつけて利用してください。

**側溝(道路のそばのみぞ)に
ゴミを捨てない**

そのまま川や海に流れ出るか、ますや雨水管を詰まらせてしまいます。



**マンホールのふたは
開けない**

危険です。また、ふたの外れたマンホールには近づかないでください。



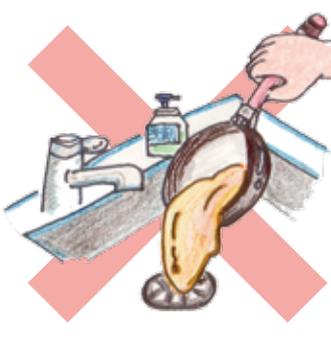
**流し台や洗面所、水洗トイレなど
に流れにくい物を流さない**

野菜くずやゴミ、溶けにくい紙などを流すと、排水管やますが詰まったり、浄化センターにかかる負担が大きくなります。



食用油を流さない

下水道管を詰まらせたり、下水道管を傷めてしまいます。



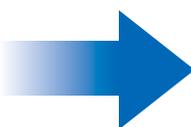
⑧ マンホールトイレ

地震などに備え、多くの人々が避難する広域避難所に指定された新都心公園にマンホールトイレを整備しています。普段はマンホール蓋しか見えませんが、使用時にはマンホールの蓋を開けてその上に仮設便器と TENT を設置して使います。

設置場所・設置数
○新都心公園 25基



普段の様子



使用時